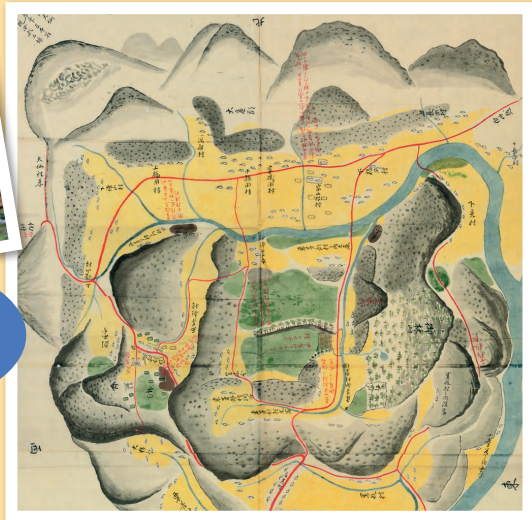




# 地域に息づく 歴史をたずねる

## 江戸時代の百姓一揆、山中一揆



ももっち・うらっちと  
一緒に、岡山の歴史に  
ふれてみよう!



岡山県マスコット  
ももっち・うらっち

# はじめに

## 山中一揆とは

とのさま殿様にうらみがあるとして、美作国津山城下の農民8,000人が百姓一揆を起こし、山中地方に立てこもった。1月4日に津山藩は武士500人余りに鉄砲や大砲などを持たせ山中地方に派遣した。同13日に、農民と武士が戦い、農民側が敗れた。これにより農民約130人が獄門、約50人が磔、約200人が牢屋に入れられ、多数が行方不明となった。また、武士も生死不明ということである。

これは、美作国の山中地方（現在の真庭市北部、新庄村）で発生した百姓一揆について、1727年（享保12年）1月15日に京都の町人にもたらされた情報です。この衝撃的な内容は、事実とは異なるところも多いのですが、この事件が当時の人たちによって、戦争と同じように受け止められていたことが分かります。



農民たちが立てこもった黒田峠（真庭市黒田）津山藩兵の進軍に対して、農民たちは峠にたてこもり、武士たちの侵入を阻止しようとした。江戸時代に作られた記録には、農民たちは鉄砲や竹製のやりを持っていたと記されています。

百姓一揆は、江戸時代の農民の抵抗運動で、重い税（年貢など）や村役人・代官の不正等に対して、集団で抵抗したものです。全国で3,000件以上発生しています。岡山県でも現在までに70件を超える百姓一揆が確認されていますが、美作国



農民たちが処刑された場所の一つ、今井河原（新庄村）

の山中地方を中心に発生したこの百姓一揆が最大規模で、この地方の地名にちなんで山中一揆と呼ばれています。

さて、山中一揆の舞台となった津山藩では、18世紀初めには財政危機の状態となっており、領内の農民に対して増税策を採用していました。山中一揆の発生した1726年(享保11年)にも4%の追加の年貢を課税し、例年より1カ月以上早く全額を納めるよう命じました。一方、11月11日には幼年の津山藩主があと継ぎのないまま死亡しました。このため、津山藩の領内には藩の取りつぶし、あるいは領地であった美作国西部が没収され幕府の領地となる、などの噂が広まっていました。そうしたなか、同20日に久世村(現在の真庭市久世)にあった蔵から、農民たちの反対にもかかわらず、津山藩の役人の手で年貢米の積み出しが強行されました。これに危機感を抱いた農民たちは、仲間村(現在の真庭市仲間)牧分徳右衛門・見尾村(現在の真庭市見尾)弥治(次)郎が指導者となり、美作国西部の農民に百姓一揆に参加するよう呼びかけ、12月5日までに3~4,000人の農民が久世村に集結しました。農民たちは、まず、移動中の年貢米などを没収しました。同6日夕方には、津山から出張してきた藩の役人と交渉し、年貢の14%減税、4%の増

税の中止、そして現在の村役人を辞めさせることなどを認めさせ、解散しました。この後、美作国東部でも百姓一揆が発生し、藩はおおむね西部なみに農民の要求を認め、これにより百姓一揆はいったん収まりました。



徳右衛門たちが捕らえられた場所付近に整備された義民の丘(真庭市禾津)  
一月十三日に徳右衛門らが捕らえられた場所付近には、全犠牲者の名を記した昭和五十七年建立の山中一揆義民慰霊碑(写真右)などがあり、毎年五月三日に慰霊祭が営まれています。

しかし、同21日ごろから山中地方の農民たちは、納め過ぎた年貢の返還を求め、各地で行動をはじめました。これに対し藩側は、翌年1月4日にようやく山中地方へ武士を派遣することを決め、総勢250人を超える部隊と鉄砲68挺・大砲1門などを送りました。一方、農民たちは、山中地方に至る交通の要所である三坂峠・黒田峠などに集まり、山中地方への侵入を阻止しようとしました。しかし、武士たちは、百姓一揆の指導者を捕らえ処刑しながら山中地方へ入り、同13日未明に土居村(現在の真庭市禾津)で休息中の徳右衛門など蒜山地方を中心とした農民31人を捕まえるなどして、百姓一揆を鎮圧しました。結局、西部で147人の農民が処罰され、うち51人が死刑となりました。この死刑となった農民の数は、江戸時代の百姓一揆のなかで最も多いものの一つです。

多数の犠牲者を出した山中地方には、犠牲者の墓、供養塔や顕彰碑などがあ

ちこちに残っています。それらは、江戸時代から地域の人たちによってまつられ、そして山中一揆の伝統として伝えられてきました。今回のガイドブックでは、山中一揆をめぐるこの地域で守り伝えられた、歴史の証人たちの一部を紹介していきます。



### 山中一揆の記録（岡山大学附属図書館所蔵）

規模が大きく、死刑となった農民も多かったため、山中一揆が終わった後、たくさん記録が作られました。農民たちが記したものでも九種類もの記録が確認され、その写しも多数作られています。



#### 表紙写真の説明

- 写真上 山中一揆に多数の農民が参加した蒜山地方。写真後方は蒜山三山。  
(岡山県立記録資料館写真提供)
- 写真下左 田部義民の墓。一番右の地蔵に名前が見えます。
- 写真下右 江戸時代中期に作成された山中地方の絵図。  
処刑された農民たちの人数などが記されています。  
(岡山県立記録資料館所蔵・写真提供)

# ぎ みる ひ ぐち や じ ろう ひ 義民樋口弥治郎碑

真庭市見尾



真庭市見尾は、山中一揆の頭取弥治(次)郎の出身地で、集落の東方に1917年(大正6年)建立の弥治郎の顕彰碑があります。山中一揆が終結した後、弥治郎は近くの山の洞穴に身を潜め、そこに愛犬が弁当を届けていたといわれています。弥治郎が隠れていた山は「弥治郎嶽」と呼ばれ、真庭市指定重要文化財となっています。また、この碑に寄り添うように義民弥治郎忠犬塚も建てられています。

「頭取」は百姓一揆の指導者のことです。



「義民」は、百姓一揆において生命・財産をかけて活動した農民のことです。百姓一揆の後にその地域の人々によってまつられたりする場合があります。



# とく えもん みさき 徳右衛門御前

真庭市仲間 真庭市指定重要文化財

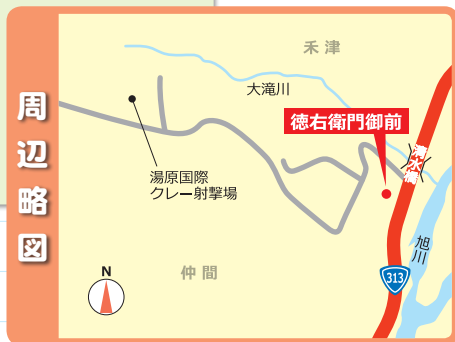
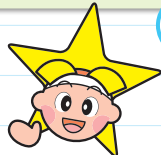


国道313号沿いに「享保十二未三月十一日」「清眼則勇信士」「俗称池田徳右衛門」などと刻まれた石碑があり、徳右衛門御前と呼ばれています。この徳右衛門は、現在の真庭市仲間出身で、山中一揆では発頭人・頭取として活動し、1727年（享保12年）3月12日に津山藩によって処刑された人物です。この石碑は、嘉永年間（1848年～1854年）に近くの村役人たちが建立したものです。かつては刀、鎌、鋏、幟などが奉納され、願い事がかなうとしてにぎわっていました。

「発頭人」は百姓一揆を最初に呼びかけた人のことです。



「御前」というのは、思いがけない災難などで死んだ人をまつたところですよ。



# せい すい じ く よう ひ 清水寺の供養碑

真庭市久見



旭川の左岸にある清水寺の境内に、昭和40年ごろに旭川の土居河原で発見され、移築された石碑があります。この石碑には「過去亡霊二十五人為菩薩 供養大仏頂陀羅尼一万八千遍誦之 乃至法界平等利益」「享保十二未天正月十三日清水寺」とあります。1727年（享保12年）1月13日に土居河原で処刑された25人の供養のために、お経を1万8000回となえたことが分かります。





# だい りん じ みょう てん つか 大林寺の妙典塚

真庭市黒杭 真庭市指定重要文化財



旭川をせき止めてできた湯原湖の北、真庭市黒杭の大林寺門前に妙典塚（大乘妙典一字一石塔）があります。妙典塚は、小石に法華経というお経の一字ずつを書き写して地中に埋め、その上に石塔を建てたものです。石塔本体には「奉納大乘妙典書写一石一部塚」「于時享保十二丁未天九月日 教音書写」と記され、1727年（享保12年）に建立されたことが分かります。台座には、山中一揆で処刑された52人の名前と命日などが刻まれ、まさしく山中一揆犠牲者全員の供養のために建てられたものといえます。



# こそ だ ぎ みん はか 社田義民の墓

真庭市蒜山西茅部 真庭市指定重要文化財



1727年（享保12年）1月25日に処刑された真庭市蒜山西茅部出身の治郎右衛門の墓で、自然の石で作られた墓には、「刃了禅定門」「享保十二未天」「正月十三日」などの文字が刻まれています。治郎右衛門が処刑された日付と墓に刻まれた日付は異なっていますが、多数の処刑者が出た中での混乱ぶりがよくわかります。地元では毎年6月の第一日曜日を義民祭としておまつりをしています。



# た べ ぎ みん はか 田部義民の墓

真庭市蒜山西茅部 真庭市指定重要文化財



真庭市<sup>ひるぜんにしかやべ</sup>蒜山西茅部・田部集落の道路沿いの山すそにある小

さなお堂のかたわらに、高さ30～40cmほどの小さな石造の地蔵が、22基並んでいます。山中一揆<sup>しよけい</sup>で処刑された西茅部出身者らの墓で、もとは別々の場所にあったものが徐々に寄せ集められ、まつられるようになりました。地蔵の一部には、「笠木 忠右衛門」「三右衛門」など、1727年（享保12年）1月13日に土居河原<sup>どい</sup>で処刑された西茅部の農民の名前が確認できます。

死刑となった51人のうち西茅部村（現在の真庭市蒜山西茅部）出身の人は20人も及んでいます。



おお もり しち ざ え もん ふ し ほこら  
**大森の七左衛門父子祠**

真庭市蒜山東茅部 真庭市指定重要文化財



真庭市<sup>ひるぜんひがしかやべ</sup>蒜山東茅部・大森集落<sup>ぬ</sup>を抜ける県道東茅部・下福田線沿いの東にある小さな丘の上に、七左衛門と喜平次父子<sup>おか</sup>をまつた石の祠があります。七左衛門は山中一揆<sup>ちゅうちゅういっかい</sup>の頭取の一人で、蒜山地方の人々を指導していました。しかし、父子ともに1727年（享保12年）1月13日<sup>つか</sup>に捕まり、3月12日<sup>なるとえもん</sup>に徳右衛門らとともに現在の津山市院庄で処刑されています。その後、大森集落<sup>いんのしょう</sup>の敷<sup>しよけい</sup>の陰で、土地の人によってひそかにまつられていましたが、昭和33年に現在の場所に移転されました。



つるぎ  
**剣のみさき**

真庭市鉄山



1727年（享保12年）1月25日に処刑された真庭市鉄山<sup>かねやま</sup>出身の七郎兵衛<sup>しちろうべえ</sup>をまつた祠<sup>ほくら</sup>です。処刑された1月25日には近くの人々によって祭礼がとり行われていました。そばには1926年（大正15年）1月25日の日付が入った二百年祭を記念する石碑<sup>せきひ</sup>があります。また近くの墓地には、真庭市指定重要文化財の七郎兵衛の墓があります。



周辺  
略  
図



# ゆ たに ぎ みん はか 湯谷義民の墓

真庭市田口



1727年（享保12年）1月12日に今井河原（現在の新庄村）で処刑された真庭市田口出身の長右衛門と三郎右衛門の墓で、昭和36年に当時の美甘村長が発起人となって建立されました。そのそばには、長右衛門のもとと伝えられる自然の石を積み上げた墓（真庭市指定重要文化財）があります。この長右衛門は、集落の参加者代表として藩の役人に連行される際、以後の供養を依頼する言葉を残し、集落の人たちは恩人としてまつり続けたと伝えられています。

紹介した供養塔や顕彰碑などのほかに、山中地方の人々の手によって、山中一揆のようすを記した記録が作成されています。その一例が4頁の写真です。



同じ時期に  
起きた  
百姓一揆

しんぼんぎみんそうどう      ぎみんまいそうち

# 新本義民騒動・義民埋葬地

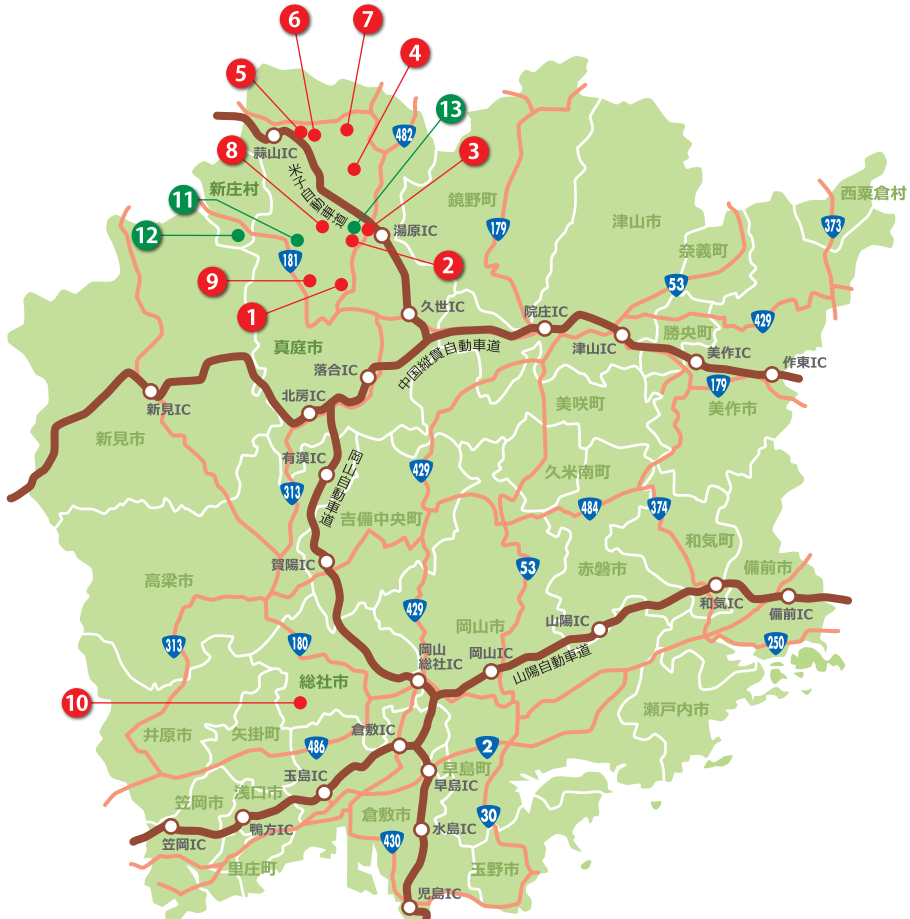
総社市新本    総社市指定史跡



新本義民騒動は、現在の倉敷市真備町に役所のあった岡田藩が取り上げた、農民たち共有の山の返還などを求めた百姓一揆です。総社市新本出身の甚右衛門・六蔵・仁右衛門・喜惣次が農民たちの代表となり、1718年（享保3年）3月2日と4日、江戸にいた藩主に訴え出ました。訴えは取り上げられましたが、4名は捕らえられ国元に送られた後、6月7日処刑されました。甚右衛門・六蔵・喜惣次は西明寺、仁右衛門は円尾寺にそれぞれ埋葬されました。また、地元の人々によって、1918年（大正7年）「義民四人衆二百年祭」がもよおされ、以後夏に義民祭が開かれています。



# 所在マップ



- |                      |                          |                          |                    |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------|
| 1 義民樋口弥治郎の碑<br>真庭市見尾 | 2 徳右衛門御前<br>真庭市仲間        | 3 清水寺の供養碑<br>真庭市久見       | 4 大林寺の妙典塚<br>真庭市黒杭 |
| 5 社田義民の墓<br>真庭市蒜山西茅部 | 6 田部義民の墓<br>真庭市蒜山西茅部     | 7 大森の七左衛門父子祠<br>真庭市蒜山東茅部 | 8 剣のみさき<br>真庭市鉄山   |
| 9 湯谷義民の墓<br>真庭市田口    | 10 新本義民騒動・義民埋葬地<br>総社市新本 | 11 黒田峠<br>真庭市黒田          | 12 今井河原<br>新庄村     |
|                      |                          | 13 義民の丘<br>真庭市禾津         |                    |

■発行日 平成26年 3月24日

■発行 岡山県教育委員会

■編集 岡山県教育庁文化財課

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 電話 086-226-7601 (直通)

■協力 真庭市教育委員会、岡山大学附属図書館、岡山県立記録資料館  
岡山県古代吉備文化財センター、岡山県立岡山城東高等学校、岡山県立博物館、  
岡山市立西大寺小学校、岡山市立芳泉中学校